

【会社紹介】

現社長の藤嶋昇さんは年齢を感じさせない、感性を身に付けたおしゃれなナイスミドルです。

工場の壁に掛けてある楽器は、現社長の音楽好きでバンド活動をされていた名残です。

前職で設計をされていた松尾優さんが、長女の婿として14年前に当社に入社。

技術伝承を受けながら、社業を発展させる原動力となりました。

受注する公的な仕事が、気象・風向計・空力計などの大手機械メーカーの下請で、メモリの製作が当社のベースを支えています。最近はガスやオイルのバルブの【目盛り】や過酷な環境で使われるマシンに添付する【金属プレート】が、巨大な産業技術を支える陰の立役者として活躍しています。

【事業承継設備の助成金を採択】

今回の事業承継補助金で、最先端の大型プリンターが導入されて、大きな技術進歩につながりました。

直接、材料にプリントできることから、ダイレクトな金属加工が可能になり、生産性が大きく向上しました。

【設備を更新する事で今後の展望につながった】

今回のマシン導入を機に経営革新が起きています。新しい機械が生み出す製品が、取扱ジャンルを増やして、商品の選択肢が増え、新しい提案がお客様にできて喜ばれています。

【専門家派遣のメリット】

承継のタイミングで専門家の訪問を受けて、幅の広い助成金の知識が得られました。

さらに自分たちでは気づかなかった自社株の贈与のトラブルや、姉妹がいることによるリスクも知る事ができました。来年2月には正式に代表交代を行うことになっています。

その時まで社長就任をサポートしていただきたいと思います。



【専門家派遣を受ける事で課題解決に役立った】

補助金で購入した機械は、ともすれば古い技術を否定することにつながるのですが、若い人を受け入れる柔軟さがある岳父の人間性に感謝しています。

工場で毎日顔を合わせるの、意見がぶつからないように、お互いに認め合って、代表を辞めても日常は変えないで現場に出てほしいと思います。

後継ぎがいなければ無くなってしまいう古い技術が、この世から消えてしまうのを防ぎ、新規マシンの導入による新しい技術と両立できる道を探しています。

【もう一つの事業承継】

母からの娘への会計や総務の引継ぎもあり、現場作業以外の管理運営面でもスムーズに世代交代が進んでいます。

事業承継設備投資助成

第2期 申請募集

事業承継に伴う設備投資に係る費用の一部を審査のうえ助成します。

助成額

製造業は最大500万円、その他は250万円(対象経費の1/2)

申請資格

区内で1年以上継続して事業を営む中小事業者で、事業承継を3年以内に行う見込有る方。もしくは事業承継してから3年を経過していない方

対象事業 (8月～令和2年2月までの導入)

- (1) 事業承継を契機として老朽化による設備更新
- (2) 更なる発展に向けて競争力強化を目指した最新機械設備の購入

募集期間 6月14日(金)

※詳しくは区ホームページをご覧になるか、下記までお問い合わせください。